

10 耐震改修工事をした住宅の状況

平成21年以降に耐震改修工事をした住宅を各建築の時期毎にわけると、平成3年～平成12年の施工率が0.3%と一番低くなっている。

施工率を全国と比較してみると、平成18年～平成22年と平成28年～平成30年9月を除き全国より低くなっている。

<表10>

表10 建設の時期別にみた平成21年以降における耐震改修工事をした住宅数(持ち家)

単位:戸、%

建築の時期	長崎県			全国		
	総数(a)	耐震改修工事をした住宅数	施工率	総数(a)	耐震改修工事をした住宅数	施工率
総数	353,900	4,800	1.4	32,801,500	594,800	1.8
昭和45年以前	63,300	900	1.4	3,595,900	90,800	2.5
昭和46年～55年	63,900	900	1.4	5,319,500	128,800	2.4
昭和56年～平成2年	61,900	800	1.3	5,730,400	96,900	1.7
平成3年～7年	34,800	100	0.3	3,129,400	37,600	1.2
平成8年～12年	33,300	100	0.3	3,543,500	27,800	0.8
平成13年～17年	24,400	100	0.4	3,161,600	22,200	0.7
平成18年～22年	23,500	200	0.9	2,985,900	21,200	0.7
平成23年～27年	23,300	600	2.6	2,840,600	75,500	2.7
平成28年～30年9月	11,500	1,100	9.6	1,249,100	81,400	6.5

数値は居住世帯のある住宅のうち持ち家であるもの

「総数」は、建築の時期「不詳」を含む。

「設置率」は、各建築時期毎の「総数(a)」に占める割合。